

失語症者向け意思疎通支援者の養成について

1. 養成研修について

養成研修実績（R3）

- ・R2 はコロナの影響により研修を中止
- ・養成者数
 - リーダー 6名（講義時間数 72時間※）
 - パートナー 5名（講義時間数 24時間）
- ※当初は「認証」「公表」を前提としていたため、派遣に必要な講義は未実施

「認証」「公表」の取組みの見直しに伴い、
養成研修の枠組みも併せて見直し

養成研修予定（R4～）

（養成する者の類型）

■派遣対象となる支援者（リーダー）

- ・2年間で1クール。定員は10名に設定。
- ・講義時間数は1年目（基礎）40時間程度、2年目（応用）40時間程度とする
- ・「サロン」での実習を含む

■家族等支援者（パートナー）

- ・動画研修を実施し、レポート等により効果測定を実施予定
- ・人数や講義時間数は講師となる言語聴覚士会と調整中（養成期間は1年）

2. その他研修について

当事者に関わる可能性のある警察や公共交通機関の職員に対し、失語症について理解を深めてもらうための働きかけを実施

（R3 実績）

大阪府警察本部・・・失語症者支援に関する啓発チラシを配付（資料7）

（R4 予定）

大阪府警察本部・・・窓口担当職員向けの研修にて失語症者支援の内容を採用してもらう予定（講師を派遣予定）

大阪メトロ・JR西日本

・・・R3年度に失語症者支援にかかる啓発動画を作成し提供。

R4年度の社内研修等での活用を依頼

参考 養成スキーム図示

養成区分	申込年度	R4	R5	R6	...
リーダー	R4	基礎研修	応用研修		...
	R5		基礎研修 (兼 応用研修修了者の派遣先)	応用研修	...
	R6			基礎研修 (兼 応用研修修了者の派遣先)	...
パートナー	-	動画研修	動画研修	動画研修	...